

東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所 市民公開講座 — 最先端生命科学講座シリーズ 第39回 —

東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。

※本公開講座は医療講演ではありません。

日時

2025年 2月28日(金) 午後7時～9時

開催方法

オンライン (Zoom)

共催

東京科学大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー

講演 1

免疫が骨をこわすしくみ

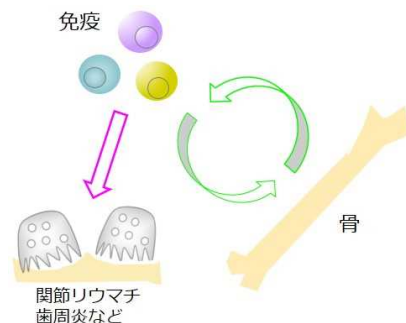
こまつ のりこ

講師

小松 紀子 (総合研究院 難治疾患研究所 教授)



骨は、身体を支えたり、ミネラルを蓄えたりするだけでなく、免疫細胞をうみだすなど、免疫と深いつながりをもっています。関節リウマチや歯周炎などでは、炎症＝免疫の活性化によって骨がこわれます。本講演では免疫系が骨をこわすしくみについて、最近の研究成果を交えて解説します。



講演 2

微小な分子の世界の覗き方

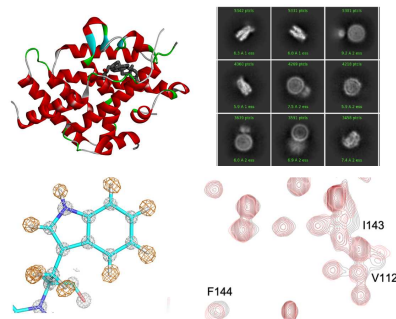
いとう のぶとし

講師

伊藤 暢聡 (総合研究院 難治疾患研究所 教授)



私たちを含む生物は様々な分子から構成されています。生物の仕組みや病気の原因、薬の作用などを深く理解するためには、小さな分子の世界を観察することが必要になります。いろいろな技術・装置が開発されてきましたが、今回は生物学・医学の分野でよく使われている手法について解説します。



2/19(水)23:59〆切 : 定員50名・参加費無料・15歳以上対象 (中学生を除く)

公益財団法人文京アカデミーHP (<https://www.b-academy.jp/manabi/lecture/science.html>) からお申し込みください。

☎112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係 TEL : 03-5803-1119 (平日9:00~17:00)